

第 54 回 第三者委員会 議事録

1. 日時：2021 年 9 月 17 日（金） Web 会議
2. 委員の現在数：6 名
3. 参加者と人数：第三者委員会 石川委員長、梅田委員、村上進亮委員、斉藤委員、
山本委員、村上千里委員（以上 6 名）
家電製品協会 事務局 4 名出席
4. 議事：（1）2020 年度不法投棄未然防止事業協力及び離島対策事業協力実績報告
（2）2019 年度不法投棄未然防止事業協力評価の審議
（3）2020 年度離島対策事業協力評価の審議
5. 配布資料
資料 1-1：2020 年度不法投棄未然防止事業協力及び離島対策事業協力実績
資料 2-1, 2-2：2019 年度不法投棄未然防止事業協力評価
資料 2-3：2020 年度離島対策事業協力評価
資料 3-1：第 54 回第三者委員会報告資料
6. 議事の内容
 - （1）2020 年度不法投棄未然防止事業協力及び離島対策事業協力実績について
事務局より資料に基づき、事業実施後の状況について以下の説明があった。
2019 年度不法投棄未然防止事業協力について、自治体数、不法投棄台数推移、
交付助成額の説明があった。
2020 年度離島対策事業協力について、自治体数、交付助成額の説明があった。
 - （2）2019 年度不法投棄未然防止事業協力自治体評価について
 - ①全体の状況について
 - ・事務局より資料に基づき、事業実施後の状況について説明があった。
 - ・事業協力を行った自治体の評価指標として下記 2 評価で前年度より悪化
 - (a) 評価基準：1 万人当たりの不法投棄台数が前年度対比 0.5 台悪化
 - (b) 削減基準：基準年 2017 年に対して▲30%の達成に関して前年度対比 5%の悪化、
 - ・事業協力を行った自治体の人口 1 万人あたりの不法投棄量の平均値は 2019 年度環境省データに基づく全体平均値よりは下回った。
 - ②悪化要因の推定として
 - ・事務局より資料に基づき、廃家電 4 品目の中でテレビの台数のみが増加
コロナ禍の巣ごもりやオリパラの買換需要もあるがネット販売等販路の
多様化による不適正処理があるとの説明があった。

◇審議の結果、承認した。また評価を Web サイトに公表することとした。

(3) 2020 年度離島対策事業協力自治体評価について

- ・事務局より資料に基づき、宮古島の事例等をあげて評価について説明があった。

◇審議の結果、承認した。また評価を Web サイトに公表することとした。

以 上